

NHK交響楽団 年表 1926–2025

中村洪介・西村理 [編]

分冊⑩：2016–2025

- * 本年表はNHK交響楽団関連項目、社会および音楽界のおもな出来事の2欄にわけて構成している
- * 1926–1986年の年表は中村洪介による（『NHK交響楽団五十年史』『NHK交響楽団六十年史』の年表をもとに編集）
- * 1987–2025年の年表は西村理による

主要参考文献

- 『曲目と解説』『フィルハーモニー・パンフレット』『音楽雑誌フィルハーモニー』『日本交響楽団誌』『フィルハーモニー』
『近代日本総合年表』（岩波書店、1968）
『朝日年鑑』（朝日新聞社）、『毎日年鑑』（毎日新聞社）、『読売年鑑』（読売新聞社）
『NHK年鑑』（日本放送出版協会）
『音楽年鑑』（音楽之友社）
『音楽之友社25年のあゆみ』（音楽之友社、1966）
『放送50年史 資料編』（日本放送協会、1977）
『日本メディア史年表』（土屋礼子編、吉川弘文館、2018）
『20世紀放送史』（日本放送協会編、日本放送出版協会、2001）
『NHK放送100年史』（NHK編、NHK出版、2025）
M. E. Cullen: *Memorable Days in Music* (The Scarecrow Press Inc., 1970)
Baker's Biographical Dictionary of Musicians (G. Schirmer, 1971)
Riemann Musik Lexikon, Ergänzungsband Personenteil (Schott's Söhne, 1972)

オンラインデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」（朝日新聞）、「毎策」（毎日新聞）、「ヨミダス」（読売新聞）、「サントリーホール公演アーカイブ」（サントリーホール）

制作：公益財団法人 NHK交響楽団
©NHK Symphony Orchestra, Tokyo, 2025
編集協力：株式会社アルテスパブリッシング

2016

平成28年

2016年1月1日		マイナンバー制度運用開始
2016年1月5日		ビエール・ブーレーズ（作曲・指揮）没
2016年1月5日	岩淵龍太郎（元コンサートマスター）没	
2016年1月9・10日	定期公演指揮者に山田和樹を招聘。N響定期初登場	
2016年1月10日	大河ドラマ『真田丸』（テーマ音楽：服部隆之、指揮：下野竜也、ヴァイオリン：三浦文彰）放送開始	
2016年1月10日		中澤桂（ソプラノ）没
2016年1月10日		デヴィッド・ボウイ（ロック歌手）没
2016年1月29日		オーレル・ニコレ（フルート）没
2016年2月	第64回尾高賞を権代敦彦《オーケストラのための Vice Versa 一逆も真なり》に授与	
2016年3月	名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットが第67回日本放送協会放送文化賞を受賞	
2016年3月5日		ニコラウス・アーノンクール（指揮）没
2016年3月26日		北海道新幹線開業
2016年4月7・10日	東京春祭ワグナー・シリーズvol.7《ニーベルングの指環》第2日《ジークフリート》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
2016年4月14日		熊本地震
2016年4月21日		プリンス（歌手）没
2016年5月5日		富田勲（作曲・シンセサイザー）没
2016年5月11～15日		サイモン・ラトル（指揮）がベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と来日、ベートーヴェン交響曲全曲演奏
2016年6月3・4日	台湾公演。台北で開催（指揮：下野竜也、ヴァイオリン：神尾真由子）	
2016年6月9日	理事長に今井環が就任	
2016年7月7日	「徳永二男 楽壇生活50周年記念演奏会」に出演	
2016年7月26日		中村敏子（ピアノ）没
2016年8月1日		8Kスーパーハイビジョン試験放送開始
2016年8月2日		東京都知事に小池百合子が就任
2016年8月5～22日		リオデジャネイロオリンピック開催
2016年9月		モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督・音楽監督に山田和樹が就任
2016年9月		新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に上岡敏之が就任
2016年9月8日	N響90周年記念特別演奏会 マーラー《一千人の交響曲》（指揮：パーヴォ・ヤルヴィ）	
2016年10月	第36回有馬賞を公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 埼玉会館、広上淳一（指揮）に授与	
2016年10月2日		ネヴィル・マリナー（指揮）没
2016年10月3日		大隅良典がノーベル生理学・医学賞を受賞
2016年10月6日	N響90周年&サントリーホール30周年 パーヴォ・ヤルヴィ 指揮NHK交響楽団特別演奏会（マーラー《交響曲第3番》）	
2016年11月6日		ゾルターン・コチシュ（ピアノ・指揮）没
2016年11月10日		音楽ストリーミングサービス「Spotify」が日本でサービス開始
2016年11月13日	韓国公演。韓国（ソウル）で開催（指揮：デーヴィッド・ジンマン、ヴァイオリン：イム・ジヨン、ソプラノ：ヨアンナ・コシュウスカ）	
2016年12月19日	名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットに桂冠名誉指揮者の称号を授与	
2017年1月8日	大河ドラマ『おんな城主 直虎』（テーマ音楽：菅野よう子、指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、ピアノ：ラン・ラン）放送開始	
2017年1月20日		ドナルド・トランプがアメリカ合衆国大統領に就任
2017年2月	第65回尾高賞を池辺晋一郎《シンフォニーX「次の時代のために」》、一柳慧《交響曲第10番―さまざまな想い出の中に―岩城宏之の追憶に》に授与	
2017年2月16日		船山巖（作曲）没
2017年2月21日		スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ（指揮）没
2017年2～6月	サントリーホールの改修工事のため、Bプログラムを休止し、2月に「N響横浜スペシャル」（横浜みなとみらいホール）、4月～6月に「N響水曜夜クラシック」（NHKホール）、「N響午後のクラシック」（ミュージアムザ川崎シンフォニーホール）を開催	
2017年2月28日～3月8日	ヨーロッパ公演。ドイツ（ベルリン、ケルン）、ルクセンブルク（ルクセンブルク）、フランス（パリ）、オランダ（アムステルダム）、イギリス（ロンドン）、オーストリア（ウィーン）の6か国7都市で開催（指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、ヴァイオリン：ジャンニース・ヤンセン）	
2017年4月		広島交響楽団音楽総監督に下野竜也が就任（～2024年3月）
2017年4月1日	2016年8月までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団およびウィーン国立歌劇場管弦楽団コンサートマスターを務めて活躍したライナー・キュッヒルが、ゲスト・コンサートマスターに就任（～2021年3月31日）	
2017年4月1・4日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol.8『ニーベルングの指環』第3日《神々の黄昏》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
2017年4月5日		大岡信（詩人）没
2017年6月23日		「文化芸術基本法」公布
2017年8月14日		三宅幸夫（音楽学）没
2017年9月9・11日	特別公演でパーヴォ・ヤルヴィとの初のオペラ、モーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》（演奏会形式）	
2017年9月27日		小野光子（ソプラノ）没
2017年10月	定期公演指揮者にクリストフ・エッセンバッハを招聘。指揮者としてはN響定期初登場。ブラームス交響曲全曲演奏を行う	
2017年10月	第37回有馬賞を大林 修子（N響第2ヴァイオリン首席奏者）に授与	

2017

平成29年

		N 響	社会・音楽界
2018 平成30年	2017年10月5日		カズオ・イシグロがノーベル文学賞を受賞
	2017年10月5日		『ニューヨーク・タイムズ』紙掲載のセクシャルハラスメントを告発する記事がきっかけとなり、「#MeToo運動」が世界各地に急速に広まる
	2017年11月19日		メシアン《オペラ「アッシジの聖フランチェスコ」》（シルヴァン・カンブルラン指揮、読売日本交響楽団、演奏会形式）全曲日本初演（サントリーホール）
	2017年11月28日		岩井宏之（音楽評論）没
	2017年12月12日		原田茂生（声楽）没
	2018年1月7日	大河ドラマ『西郷（せご）どん』（テーマ音楽：富貴晴美、指揮：下野竜也、歌：里アンナ）放送開始	
	2018年2月	第66回尾高賞を坂田直樹《組み合わせられた風景》に授与	
	2018年2月9～25日		平昌冬季オリンピック開催
	2018年2月16日		細川俊夫 オペラ《松風》日本初演（新国立劇場）
	2018年2月22日		礪山雅（音楽学）没
	2018年3月2日		ヘスス・ロベス・コボス（指揮）没
	2018年3月4・6日	レナード・バーンスタイン生誕100年を記念してパーヴォ・ヤルヴィが《ウェスト・サイド・ストーリー》（演奏会形式）を指揮（主催：Bunkamura、共催：NHK交響楽団）	
	2018年4月		札幌交響楽団首席指揮者にマティアス・パーメルトが就任（～2024年3月）
	2018年4月		大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督に尾高忠明が就任
	2018年4月1日		平山美智子（ソプラノ）没
	2018年4月5・8日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol. 9《ローエングリン》（演奏会形式）（指揮：ウルフ・シルマー）に出演	
	2018年4月29日	桂冠名誉指揮者のヘルベルト・ブロムシュテットが旭日中綬章を受章	
	2018年6月6日	理事長に根本佳則が就任	
	2018年6月12日		シンガポールで史上初の米朝首脳会議が行われる
	2018年6月12日		フランソワ・グザヴィエ・ロトが、ビリオド楽器オーケストラ「レ・シエクル」を率いて来日し、ストラヴィンスキー《春の祭典》ほかを指揮（1公演）
2018年6月16日		ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー（指揮）没	
2018年9月	『フィルハーモニー』9月号から出演者の経歴に加え、曲目解説の英文を掲載開始		
2018年9月5・7日	日越外交関係樹立45周年記念NHK交響楽団ベトナム公演。ホーチミン、ハノイの2都市で開催（指揮：井上道義、ヴァイオリン：クリスティアン・テツラフ）		
2018年9月1日		新国立劇場オペラ部門芸術監督に大野和士が就任	
2018年9月14日		第1回 ショパン国際ビリオド楽器コンクールで川口成彦が第2位入賞	
2018年9月15日		ミュンヘン国際音楽コンクール ピアノ三重奏部門で葵トリオが第1位	
2018年9月16日		松下功（作曲）没	
2018年10月	第38回有馬賞を横濱みなとみらいホール（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）、茂木大輔（N響首席オーボエ奏者）に授与		
2018年10月1日		本庶佑がノーベル生理学・医学賞を受賞	
2018年10月26日		一柳慧が文化勲章を受章	
2018年11月9日		映画『ボヘミアン・ラプソディ』日本公開	
2018年11月25日		前田憲男（ジャズピアノ）没	
2018年12月1日		「BS4K」および「BS8K」放送開始	
2018年12月3日		大中恩（作曲）没	
2019 平成31・令和元年	2019年1月6日	大河ドラマ『いだてん～東京オリムピック囃～』（テーマ音楽：大友良英、指揮：下野竜也、ドラムス：芳垣安洋、ギター：佐藤紀雄、掛け声・拍子木・鈴・鼓：高良久美子、口笛：柴田晶子、鼓：仙波清彦、パーカッション：大友良英スペシャルビッグバンド、芳垣安洋オルケスタ・ナッジ!ナッジ!）放送開始	
	2019年2月	第67回尾高賞を藤倉大《Glorious Clouds for Orchestra》に授与	
	2019年2月10～14日		テオドール・クルレンツィスがムジカエテルナを率いて初来日（4公演）
	2019年2月17日		西村朗 オペラ《紫苑物語》世界初演（新国立劇場）
	2019年2月24日		ドナルド・キーン（日本文学）没
	2019年2月28日	名誉客演指揮者アンドレ・ブレヴィン没	
	2019年2月28日	香港公演。「香港アートフェスティバル2019」に参加（指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、ピアノ：ツォオ・チャン）	
	2019年3月	尾高忠明が第70回日本放送協会放送文化賞を受賞	
	2019年3月8日		ミヒャエル・ギーレン（指揮）没
	2019年4月1日		読売日本交響楽団常任指揮者にセバスティアン・ヴァイグレが就任
	2019年4月5・7日	東京春祭ワグナー・シリーズvol. 10《さまよえるオランダ人》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
	2019年4月16日	第31回 ミュージック・ベンクラブ音楽賞（オペラ・オーケストラ部門賞）を受賞	
	2019年4月16日		イェルク・デームス（ピアノ）没
	2019年5月1日		元号が平成から令和に
	2019年5月11・12日	定期公演指揮者にエド・デ・ワールトを招聘。エド・デ・ワールトが世界初演したジョン・アダムズ《ハルモニーレーレ》を指揮	
	2019年6月15日	「N響公式Instagram」を開始	
	2019年6月27日		第16回チャイコフスキー国際コンクールに藤田真央（ピアノ）が第2位に入賞
	2019年7月9日		ジャーニー喜多川（ジャーニーズ事務所の創業者）没
	2019年7月18日		京都アニメーション放火殺人事件
	2019年8月23日		ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者・芸術監督にキリル・ペトレンコが就任

2020

令和2年

2019年8月29・9月1日	2020年「ベートーヴェン生誕250周年」に先駆けてパーヴォ・ヤルヴィがベートーヴェン《フィデリオ》（演奏会形式）を指揮（主催：Bunkamura、共催：NHK交響楽団）	
2019年9月1日		ラドミル・エリシュカ（指揮）没
2019年9月13日		ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門で佐藤晴真が第1位
2019年9月14・15日	「日本・ポーランド国交樹立100周年記念事業」としてパーヴォ・ヤルヴィがAプログラムで「オール・ポーランド・プログラム」を指揮	
2019年9月21日		第56回ブザンソン国際指揮者コンクールで沖澤のどかが優勝
2019年9月25日		パウル・バドゥラ・スコダ（ピアノ）没
2019年9月29日		佐藤しのぶ（声楽）没
2019年9月30日		ジェシー・ノーマン（ソプラノ）没
2019年10月	第39回有馬賞を井上道義（指揮）に授与	
2019年10月1日		消費税10%に引き上げられる
2019年10月9日		吉野彰がノーベル化学賞を受賞
2019年10月31日		沖縄・首里城火災
2019年11月30日		マリス・ヤンソンス（指揮）没
2019年12月	定期公演に3人の若手指揮者を招聘（鈴木優人、パブロ・エラス・カサド、ディエゴ・マテウス）	
2019年12月21日		国立競技場の開場
2020年1月15日		国内で初めての新型コロナウイルス感染者を確認
2020年1月19日	大河ドラマ『麒麟がくる』（テーマ音楽：ジョン・グラム、指揮：広上淳一、太鼓：林英哲）放送開始	
2020年2月	第68回尾高賞を細川俊夫《オーケストラのための「渦」》に授与	
2020年1月31日		英国EU離脱
2020年2月1日		2019年11月16・17日（第1925回定期公演）に出演を予定していた、ピーター・ゼルキン（ピアノ）没
2020年2月6日		ネルロ・サンティ（指揮）没
2020年2月15日	定期公演でアブラハムセン《ホルン協奏曲》（N響、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、NTR土曜マチネ、シアトル交響楽団、オークランド・フィルハーモニー管弦楽団共同委嘱）日本初演（指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、ホルン：シュテファン・ドール）	
2020年2月22日～3月4日	ヨーロッパ公演。エストニア（タリン）、イギリス（ロンドン）、フランス（パリ）、オーストリア（ウィーン）、ドイツ（ケルン、ドルトムント、ベルリン）、オランダ（アムステルダム）、ベルギー（ブリュッセル）の7か国9都市で開催（指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、チェロ：ソル・ガベッタ、ピアノ：カティア・ブニアティシヴィリ）	
2020年2月25日		「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」発表
2020年3月7・8日		びわ湖ホールプロデュースオペラ《神々の黄昏》無観客上演・無料ライブストリーミング配信（新型コロナウイルスの感染拡大防止のため）
2020年3月9日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月14日の「オーチャード定期」中止を発表	
2020年3月13日		「新型コロナウイルス対策の特別措置法」成立
2020年3月24日		東京オリンピックの延期決定
2020年3月29日		クシシュトフ・ベンデレツキ（作曲）没
2020年4月		第1回緊急事態宣言発令
2020年4月1日	白井圭がゲスト・コンサートマスター就任（～2023年3月31日）	
2020年4月1日		NHKプラス開始（インターネットによる常時同時配信・見逃し配信）
2020年4月10日		大林宣彦（映画監督）没
2020年4月19日		皆川達夫（音楽学）没
2020年4～6月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4・5・6月定期公演（ABC全公演）中止。同時期のその他の公演もすべて中止	
2020年6月11日		服部克久（作編曲）没
2020年7月11～13日	業界団体が実施する「演奏中の飛沫」を調べる実験に多くの楽員、職員を派遣	
2020年7月6日		エンニオ・モリコーネ（作曲）没
2020年7月17日	コロナ禍初のコンサート「N響 希望のコンサート」（NHKホール、無観客、FM生放送）開催（指揮：熊倉優）	
2020年8月17日	「コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」が2020年7月の実験を基に「クラシック音楽演奏・鑑賞にともなう飛沫感染リスク検証実験報告書」を発表	
2020年9月	2020-21シーズンは定期公演を休止し、休憩なし約60分のプログラムで定期公演代替の特別公演をNHKホール、サントリーホール、東京芸術劇場で開催	
2020年9月5日		クセナキス《ベルセポリス》日本初演（秋吉台国際芸術村）
2020年9月16日		菅義偉が内閣総理大臣に就任
2020年10月	第40回有馬賞をライナー・キュッヒル（N響ゲスト・コンサートマスター）に授与	
2020年10月7日		筒美京平（作曲）没
2020年10月31日		クラシック音楽専門の有料テレビ・チャンネル「クラシカ・ジャパン」放送終了
2020年11月5～14日		コロナ禍にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が来日公演を行う
2020年11月15日		藤倉大 オペラ《アルマゲドンの夢》世界初演（新国立劇場）
2020年12月24日		安野光雅（画家）没
2021年1月6日		岡村喬生（バス）没
2021年1月20日		バイデンがアメリカ合衆国の大統領に就任
2021年1月21日	「N響公式YouTubeチャンネル」配信開始	
2021年2月14日	大河ドラマ『青天を衝け』（テーマ音楽：佐藤直紀、指揮：尾高忠明）	

2021

令和3年

	2021年3月1日		NHKホールが耐震補強・設備更新のため休館（～2022年6月30日）
	2021年3月9日		ジェイムズ・レヴァイン（指揮）没
	2021年3月21日		濱田滋郎（音楽評論）没
	2021年5月30日		小林亜星（作曲）没
	2021年7月1日	理事長に今村啓一が就任	
	2021年7月23日～8月8日		東京オリンピック開催
	2021年8月		新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督を上岡敏之が退任
	2021年9月1日		デジタル庁発足
	2021年9月	定期公演を再開。NHKホール改修のため、「池袋Aプログラム」および「池袋Cプログラム」として東京芸術劇場で開催。Cプログラムは休憩なしの60分～80分程度のプログラム（金：19:30、土：14:00開演）および「開演前の室内楽」を開催。Bプログラムは、サントリーホール改修のため4月公演を休止	
	2021年9月12日		ミュンヘン国際音楽コンクールで岡本誠司（ヴァイオリン）が第1位
	2021年9月30日		すぎやまこういち（作曲）没
	2021年10月5日		「Windows11」公開
	2021年10月	第41回有馬賞を公益財団法人渋谷育英会、下野竜也（指揮者）に授与	
	2021年10月4日		岸田文雄が内閣総理大臣に就任
	2021年10月5日		真鍋淑郎がノーベル物理学賞を受賞
	2021年10月6日		神谷郁代（ピアノ）没
	2021年10月21日		第18回ショパン国際ピアノ・コンクールで第2位に反田恭平、第4位に小林愛実が入賞
2022 令和4年	2022年1月9日	大河ドラマ『鎌倉殿の13人』（テーマ音楽：エバン・コール、指揮：下野竜也）放送開始	
	2022年2月	第69回尾高賞を西村朗《華開世界～オーケストラのための》、岸野末利加《チェロとオーケストラのためのWhat the Thunder Said / 雷神の言葉》に授与	
	2022年2月1日		石原慎太郎（小説・政治）没
	2022年2月5～20日		北京冬季オリンピック開催
	2022年2月18日		大町陽一郎（指揮）没
	2022年2月24日		ロシア軍がウクライナへ侵攻
	2022年3月30日・4月2日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol. 13 《ローエン格林》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
	2022年4月		大阪交響楽団常任指揮者に山下一史が就任
	2022年4月1日	郷古廉がゲスト・アシスタント・コンサートマスター就任	
	2022年5月9日		野島稔（ピアノ）没
	2022年5月11日		アレクサンドル・トラージェ（ピアノ）没
	2022年7月8日		安倍元首相銃撃事件
	2022年7月15日		金昌国（フルート）没
	2022年8月1日	西川彰一が芸術主幹に就任	
	2022年8月24日	9月からの新シーズンの聴きどころを集めた「N響ウェルカム・コンサート」開始	
	2022年9月1日	首席指揮者にファビオ・ルイージが就任、パーヴォ・ヤルヴィに名誉指揮者の称号を贈る	
	2022年9月	AプログラムおよびCプログラムをNHKホールに戻して開催。Cプログラムは引き続き休憩なしの60分～80分程度のプログラム（金：19:30、土：14:00開演）	
2022年10月	第42回有馬賞を公益財団法人郡山市文化・学び振興公社に授与		
2022年10月7日		一柳慧（作曲）没	
2023 令和5年	2023年1月8日	大河ドラマ『どうする家康』（テーマ音楽：稲本響、指揮：尾高忠明）放送開始	
	2023年2月	第70回尾高賞を藤倉大《尺八協奏曲》、一柳慧《ヴァイオリンと三味線のための二重協奏曲》に授与	
	2023年3月3日		大江健三郎（小説）没
	2023年3月27日		文化庁が京都市での業務開始
	2023年3月28日		坂本龍一（作曲）没
	2023年4月	公益財団法人NHK交響楽団は2023年4月に誕生した一般財団法人NHK財団と法律上の親子関係となり統合	
	2023年4月		名古屋フィルハーモニー交響楽団音楽監督に川瀬賢太郎が就任
	2023年4月		群馬交響楽団常任指揮者に飯森範親が就任
	2023年4月1日		びわ湖ホール芸術監督に阪哲朗が就任
	2023年4月1日		京都市交響楽団常任指揮者に沖澤のどかが就任
	2023年4月1日		新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に佐渡裕が就任
	2023年4月1日	郷古廉がゲスト・コンサートマスター就任、篠崎史紀が特別コンサートマスター就任（～2025年3月31日）	
	2023年4月6・9日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol. 14 《ニュルンベルクのマイスタージンガー》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）	
	2023年5月6日		メナヘム・プレスラー（ピアノ）没
	2023年5月8日		新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行
	2023年6月20日		『レコード芸術』が2023年7月号をもって休刊
	2023年7月11日	正指揮者 外山雄三没	
2023年8月15日		飯守泰次郎（指揮）没	
2023年9月		日本フィルハーモニー交響楽団首席指揮者にカーチュン・ウォンが就任	
2023年9月7日		西村朗（作曲）没	
2023年10月	第43回有馬賞を株式会社明電舎に授与		

2024

令和6年

2023年10月	桂冠名誉指揮者のヘルベルト・ブロムシュテットが体調不良のため来日を見合わせ、Aプログラムを中止、曲目は変更せず、尾高忠明（Bプログラム）、高関健（Cプログラム）が代演。	
2023年10月5日	正指揮者に下野竜也が就任	
2023年12月1日		衛星放送を「NHKBS」および「BSプレミアム4K」に再編（11月30日「BS1」停波、「BSプレミアム」が2024年3月末停波）
2023年12月16・17日	第2000回定期公演（マーラー《交響曲第8番「一千人の交響曲」》指揮：ファビオ・ルイージ）。2022年6月から10月末までのファン投票の結果で演目を選出	
2024年1月1日		能登半島地震
2024年1月7日	大河ドラマ『光る君へ』（テーマ音楽：冬野ユミ、指揮：広上淳一、ピアノ：反田恭平、ハープ：朝川朋之）放送開始	
2024年2月	第71回尾高賞を湯浅譲二《打楽器、ハープ、ピアノ、弦楽オーケストラのための哀歌(エレジイ)―for my wife, Reiko》に授与	
2024年2月3・4日	井上道義が「最後のN響定期」を指揮（ショスタコーヴィチ《交響曲第13番「バビ・ヤール」》ほか）	
2024年2月6日		小澤征爾（指揮）没
2024年3月23日		マウリツィオ・ボリーニ（ピアノ）没
2024年3月24日		ペーテル・エトヴェシュ（作曲・指揮）没
2024年3月27・30日	東京春祭ワーグナー・シリーズ vol. 15《トリスタンとイゾルデ》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
2024年4月		九州交響楽団首席指揮者に太田弦が就任、同団終身名誉音楽監督に小泉和裕が就任
2024年4月		広島交響楽団音楽監督にクリスティアン・アルミンクが就任
2024年4月1日	郷古廉が第1コンサートマスター就任、川崎洋介がゲスト・コンサートマスター就任	
2024年4月21日		フジコ・ヘミング（ピアノ）没
2024年5月		バーミンガム市交響楽団音楽監督に山田和樹が就任
2024年6月	定期公演に日本の若手指揮者として原田慶太、鈴木優人、沖澤のどかが登場	
2024年6月17日	理事長に中野谷公一が就任	
2024年6月18日		渋谷慶一郎 アンドロイド・オペラ《MIRROR》日本初演
2024年7月3日		1万円、5千円、千円の3紙幣を改刷
2024年7月21日		湯浅譲二（作曲）没
2024年7月26日～8月12日		バリオリンピック開催
2024年7月27日		ウォルフガング・リーム（作曲）没
2024年8月23～25日	台湾公演。台中、高雄、台北の3都市で開催（指揮：ファビオ・ルイージ、ヴァイオリン：ポール・ホアン）	
2024年9月	Bプログラムが「木曜19:00/金曜19:00」に変更。Cプログラムが「休憩あり・2時間程度」の公演となり、「開演前の室内楽」終了、金曜の開演時間は19:00となる。	
2024年10月	第44回有馬賞を株式会社かんば生命保険に授与	
2024年10月1日		『レコード芸術ONLINE』創刊
2024年10月1日		石破茂が内閣総理大臣に就任
2024年10月11日		日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞
2024年11月13日		谷川俊太郎（詩人）没
2024年12月11日		間宮芳生（作曲）没
2024年12月19日		渡邊恒雄（新聞記者・実業家）没
2024年12月30日		井上道義（指揮）が引退
2025年1月20日		ドナルド・トランプがアメリカ合衆国大統領に再び就任
2025年1月26日		秋山和慶（指揮）没
2025年2月	定期公演指揮者にベトル・ボベルカを招聘。N響初登場	
2025年2月	第72回尾高賞を権代敦彦《時と永遠を結ぶ絃～ヴァイオリンとオーケストラのための～》に授与	
2025年3月7日	NHK「放送開始100年 N響大河ドラマ&名曲コンサート」開催（指揮：広上淳一、ヴァイオリン：三浦文彰ほか）	
2025年3月13日		ソフィア・グバイドゥーリナ（作曲）没
2025年4月		札幌交響楽団首席指揮者にエアラス・グランディが就任
2025年4月1日	長原幸太が第1コンサートマスター就任	
2025年4月1日		日本センチュリー交響楽団音楽監督に久石譲が就任
2025年4月13日～10月13日		2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
2025年4月21日		ローマ教皇フランシスコ没
2025年5月11～20日	ヨーロッパ公演。ベルギー（アントワープ）、オランダ（アムステルダム）「マーラー・フェスティバル2025」、オーストリア（ウィーン、インスブルック）、チェコ（プラハ）「ブラハの春音楽祭」、ドイツ（ドレスデン）「ドレスデン音楽祭」の5か国6都市で、8回のコンサートを開催（指揮：ファビオ・ルイージ、メゾ・ソプラノ：オレシア・ベトロヴァ、バリトン：マティアス・ゲルネ、ソプラノ：イン・ファン、ピアノ：ルドルフ・プフビンダー、ヴァイオリン：諏訪内晶子、チェロ：ヤン・フォークラー）	
2025年6月17日		アルフレート・ブレンデル（ピアノ）没
2025年6月20・21日	定期公演指揮者にフィンランドの若手タルモ・ベルトコスキを招聘（第2041回定期公演）。N響初登場	
2025年7月18日		ロジャー・ノリントン（指揮）没
2025年7月15日		アンドラーシュ・シフ（ピアノ）が第36回高松宮殿下記念世界文化賞音楽部門を受賞

2025

令和7年

2025年9月27日		第59回プザンソン国際指揮者コンクールで米田覚士が優勝
2025年10月	第45回有馬賞を株式会社読売旅行海外公演担当チームに授与	
2025年10月6日		坂口志文がノーベル生理学・医学賞を受賞
2025年10月8日		北川進がノーベル化学賞を受賞
2025年10月21日		高市早苗が内閣総理大臣に就任
2025年12月4・5日	第2052回定期公演で藤倉 大《管弦楽のためのオーシャン・プレイヤー〜ピエール・ブレーズの思い出に〜(2025)》(NHK交響楽团委嘱作品)世界初演(指揮:ファビオ・ルイージ)	
2025年12月12・13日	第2053回定期公演で2025年第19回シヨバン国際ピアノコンクール優勝者エリック・ルー客演	